

Local Area News

赤帽車

自主防犯パトロール開始

赤帽群馬県軽自動車運送(協)

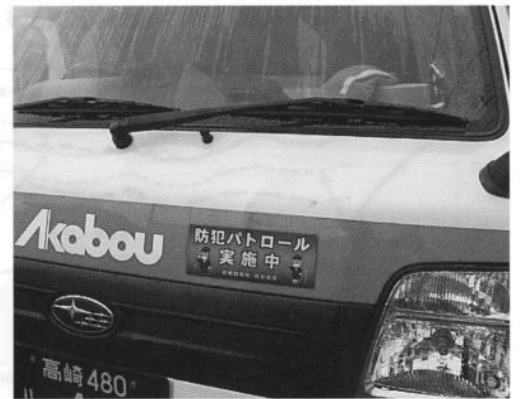
赤帽群馬県軽自動車運送協同組合(赤間美代子理事長、組合員159人)は、地域貢献の一環として自主防犯パトロールに取り組む。8月22日には群馬県防犯協会による委嘱式が行われ、同協会岡正雄専務から赤間理事長に委嘱状と車両貼付用の防犯パトロールステッカーなどが手渡された。協会による自主防犯パトロールは犯罪のないまちづくりのため実施されるもので、今回初めて一般の企業団体に委嘱されたもの。



岡専務と握手を交わす赤間理事長

赤帽車約220台すべてに「防犯パトロール実施中」と書かれた青色の防犯ステッカーを貼り、日常配送業務をしながら、組合員全員で地域の安全を見守る。特に前橋地区を担当する組合員は、パトロール結果を、前橋市のコミュニケーションFM局「M・Wave」に伝え、その内容は、毎日午後4時からの「防犯チャンネル845」で放送される。

赤間理事長は、「都道府県の防犯協会と連携して行われる防犯運動は他県では例がない。単に赤帽のPRということではなく、子供達の安全安心を確保するために少しでもお役に立てばうれしい」と抱負を語った。



車両に貼られた防犯ステッカー

わけあり品を驚きの価格で

高崎卸商社街(協)

高崎卸商社街協同組合(松本修平理事長、組合員116人)では、8月22日、高崎市、高崎問屋街センター展示会館において「第6回問屋街わけあり大処分市」を開催した。

群馬県内の卸団地が連携し、在庫品・B級品・サンプル品・型落ち品・展示現品・贈答品・バラシ等の「アウトレット品」や「わけあり品」を持ち寄り、破格の安値で一般消費者に販売するというイベントである。今回は、高崎・前橋・太田



猛暑の中、約4,000人

の3卸団地から29社が出店した。

当日は、朝から30℃を超える猛暑にもかかわらず、午前中には2000人を超える来場者で場内は大混雑が続き、最終的には、3700人を超える大勢の来場者がお目当ての商品を求めて殺到し、大変な賑わいとなっていた。次回は来年2月20日(水)の開催を予定している。

桐生市キャラクターの

刺繍入りポロシャツ制作

桐生刺繍商工業(協)

桐生刺繍商工業協同組合(岩崎朝嗣理事長、組合員48人)では、桐生市のマスコットキャラクター

LAW



左胸のキノピーの刺繍

「キノピー」を刺繍であしらったポロシャツの製作を桐生市より受注した。昨年の刺繍展にキノピーの刺繍ワッペンを出品したところ、桐生市長から高い評価を得たことがきっかけとなって、今回の受注に結びついたもの。



ポロシャツの生地には、UVカット、デオドラント、速乾性の各機能を持たせており、色は、ピンク、白、水色、ネイビー、ブルーの5色。左胸に刺繍でキノピーがあしらわれており、桐生市役所職員は今夏のクールビズとして採用された。

組合では、この他に一般への販売分としてS、M、L、LLの4サイズを作り、1着1600円で限定販売したところ、すぐに完売となった。受注分と一般への販売分を合わせた制作総数は2195着。組合では、売上金額の一部を東日本大震災の義援金として寄付している。

クックチル新工場稼働 桐生中小企業福祉事業(協)



味織り工房ゆりくらの新設工場

桐生中小企業福祉事業協同組合(日野昇理事長、組合員204人)は、組合設立50周年を迎えたのを機に、9月17日より「味織り工房ゆりくら」として、クックチル工場を稼働させた。クックチルとは、調理加熱した料理を真空パック処理し、90分以内に0〜3℃のチルド帯に急速冷却するもの。そのため、特殊な食品添加物を使用しなくても、チルドでの保管が可能となる。また、利用方法も簡単で、



真空パック処理作業

湯煎や電子レンジで再加熱して盛り付けたり、そのまま袋から食器に入れ替えるだけ。利用者は大掛かりな厨房設備の必要もなく、作業時間の短縮も可能となる。さらに、食材の無駄を省けるため、ゴミの低減にもつながる。

現在、本格的な提供を前に、介護福祉施設の高齢者の食事としてクックチルを活用している。高齢者の食事は、衛生と安全性という点がより強く求められるため、クックチルは最適。

長年培った産業給食製造の経験と実績と信頼を基に、新たな活動を展開していく。